

## 安全と環境への貢献に尽力 発電用バルブのトップメーカー

### ウツエバルブ(株)

2015年、戦艦「武蔵」がシブヤン海の海底で発見された。同艦のバルブの一部には1931年創業のウツエバルブが製作したバルブが使用されている。「もし引き揚げられたら当社のバルブを確認したい」とは清政社長の弁だ。船舶用バルブメーカーとしてスタートした同社は現在、火力・原子力発電、石油精製、高圧ガス設備などのあらゆる分野に貢献するバルブ専門メーカーとして国内外から高い評価を得ている。

戦前は海軍監督工場だったウツエバルブは、戦後は火

#### 社・理念

安全への高い意識で災害のない快適な職場環境を創造、「お客様の信頼・満足を得る品質の追求」を品質方針に掲げ、全社一丸となりお客様の満足をいただける製品の提供に努めている。



代表取締役社長  
清政 徳一氏

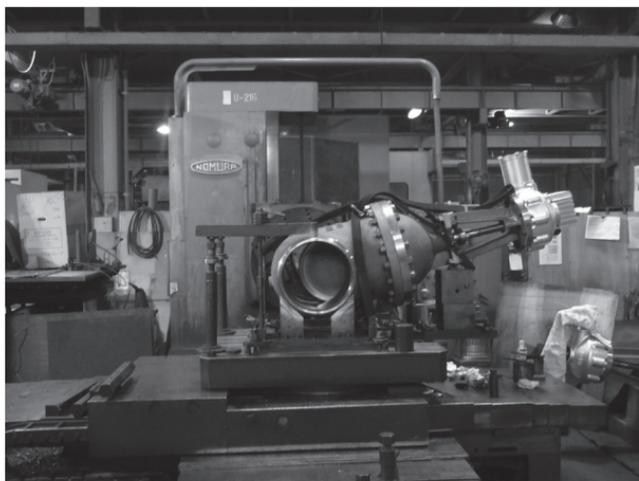
力・原子力発電施設に用いられるバルブ製作に注力。特に原子力発電用のバルブを作れるところは少ないことから、国内すべての原発には必ず同社のバルブが使用されており、「日本の原発の歴史とともに歩んできた」メーカーであると清政社長は語る。原発関連の売上は東日本大震災が発生した2011年を境に落ち込んだが、現在は木質チップを用いたバイオマス発電やゴミ焼却発電用バルブなどの分野にも参入しており、「今後も環境に配慮しつつ、安全・安定な電力供給の一翼を担っていきたい」としている。

### ■創業以来のオーダーメイド生産

同社のバルブの特徴は、創業以来一貫してオーダーメイド生産を行っているところにある。清政社長はバルブの基本3要素として「圧力・温度・流体」をあげるが、これらは使用環境によって異なるため、同社では自社のバルブを



出荷を待つ多様なサイズのバルブ



工作機械を使用して製品製造に取り組む

1個単位で追跡できるトレーサビリティシステムを構築。2011年にはISO9001を取得し品質管理にも徹底して取り組んでいる。

同社がある大正区は古くからモノづくりの街として有名である。古き良き町工場の雰囲気を残す同社の工場は、大正区が発行しているポスター「モノ語る大正オンエア」でも取り上げられ主要な駅などに掲示されている。同社は工場見学も受け付けているが、町工場ブームの影響もあつてか、近年は修学旅行生の訪問もあるという。

同社は国内外へ製品を多数提供しており、今後も「初心を忘れることなく、発電用バルブメーカーとして安全と環境に配慮していきたい」としている。

### 多能工育成への取り組み

**清** 政社長によれば、同社ではジェネラリストとスペシャリストの両面を兼ね備える多能工の育成のため、公的なものも含めて、積極的に社員の資格取得を支援している。また、熟練の技術を要するバルブ製造技術の継承にも力を入れており、定年を過ぎた社員が若手を指導している光景も目にする。同社を支える長寿のひけつは、こうした優れた人材育成への取り組みにある。



### 会社概要

所在地：大阪市大正区北村 2-1-13

電話番号：06-6552-3161

創業年月：1931年8月

事業内容：鋳鍛鋼製各種バルブの製造販売およびメンテナンス

URL：<http://www.utsue-valve.co.jp/>